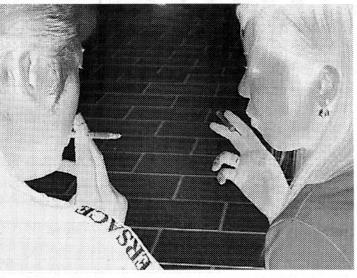
副流 低 年齢層 煙 影響を啓発 喫煙 防 jŀ

子どもを守るため、講演会などの啓発活動を通じて、 松市葵西)=が発足した。人体への影響が大きい低 バコから守る会」―事務局・鈴木内科クリニック(浜 も開かれる。 浜松市の「クリエート浜松」で、発足記念の講演会 たばこのない環境づくりを目指す。七月一日には、 年齢時での喫煙をなくし、また副流煙などの害から 県内の医師たちを中心にこのほど、「こどもをタ



たばこをくゆらせる若者たち(浜松市内で)

市民も多く、その声に答え

-三時。参加無料。

ガンによる死亡率は四倍以 めると、たばこを吸わない 四歳以下でたばこを吸い始 年、九六年)によると、十 国の高校三年生男子の 上にもなる。また、全 年早くなり、五十歳代での 人に比べガンの発生は十五 厚生省データ(一九九三 性を高めたりすることな たばこの副流煙が、子ども りすることや、親の吸った たり生まれる子どもの成長 の突然死やぜんそくの可能 や知能の発達を悪化させた 大人にとってのたばこ の害も訴える。

験のある児童が約7% に上った小学校や喫煙 去三年にわたるアンケ 者がいることも分かっ の割合で常習的な喫煙 うち、ほぼ四人に一人 浜松市教委などの過 ト調査でも、喫煙経 具体的には、

た

常習者が10%を超えた と、医師に相談に来る一般 るにはどうしたらいいか」 ばこを吸わせないようにす っている実態を裏付けて が低年齢層にも広が 中学校もあり、喫煙 以前から、「子どもにた は、医師らが小中学生の喫 の大切さなどを話す。 を呼びかけている。 してほしい」と、広く参加 煙実態や吸い始めないこと 七月一日の記念講演会で をするほか、医療関係 も吸い始める」などと 吸う大人たちにも協力 守るために、たばこを る講習会などを開く予 学校に赴き、生徒たち 者らがボランティアで が吸う姿を見て子ども が大きい子どもたちを 定。同会では「煙の害 にたばこの害を説明す 一般市民向けに講演会

いる。

防止だけでなく、妊婦の喫 師たちが呼びかけて「守る る形で今年四月、県内の医 会」が発足した。現在、医 煙が流早産の可能性を高め 青道家などまで約五百人が 会では子どもたちの喫煙 (読売新聞 2001年6月10日)

会員になっている。

帥のほか、教職員や弁護士、